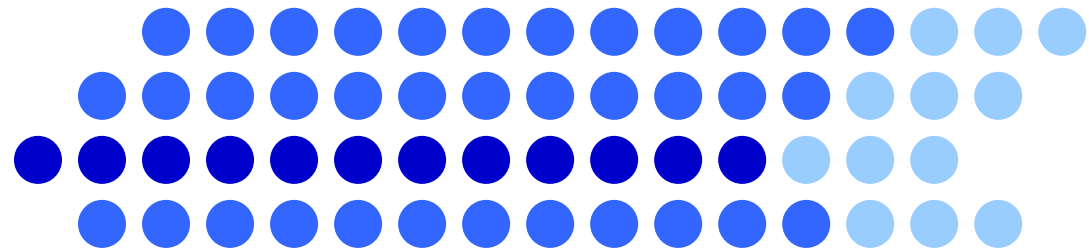


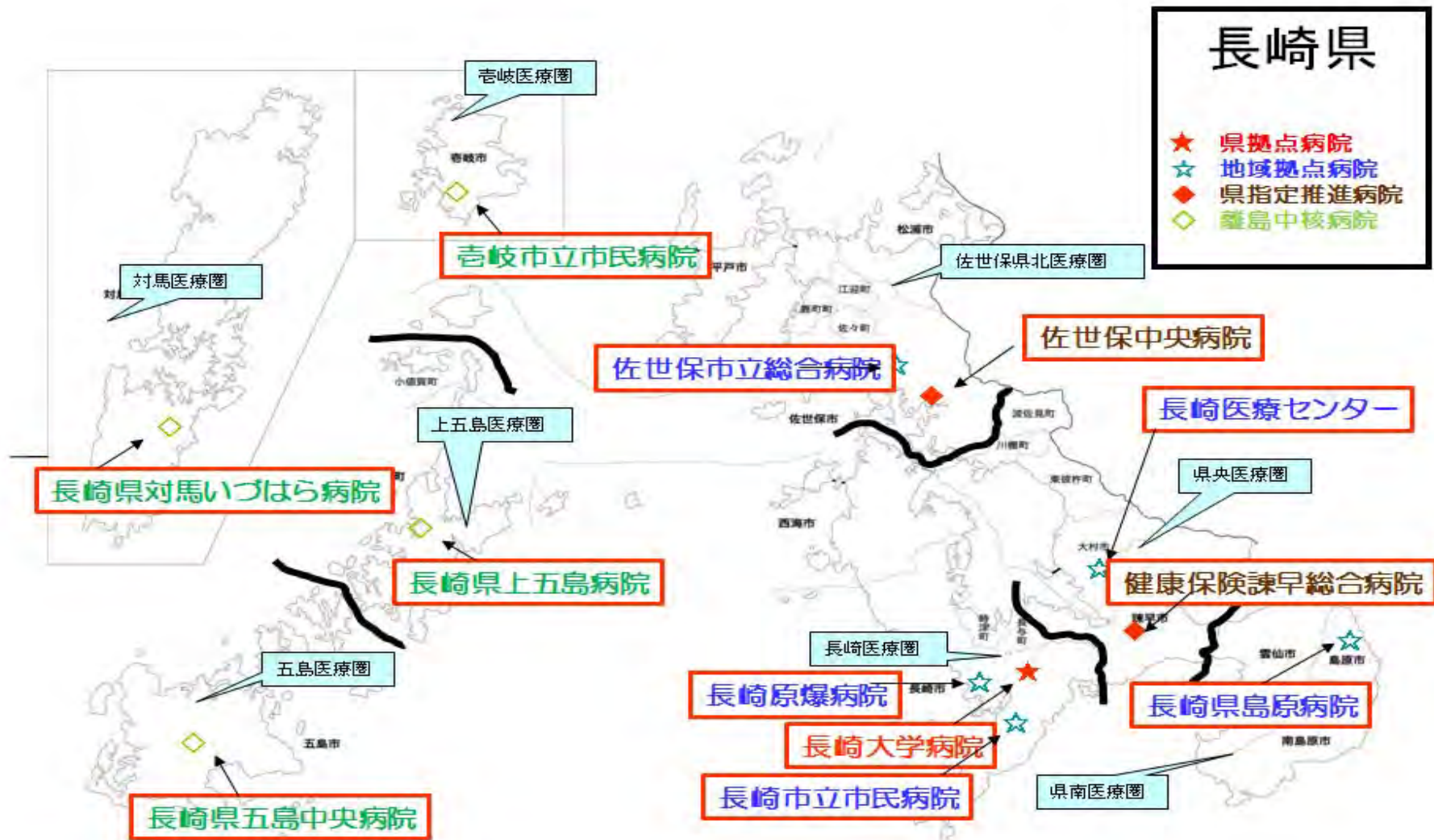
第2回九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラムin福岡
情報交換会

長崎県がん診療連携協議会 相談支援WGの取り組み

相談支援WG長 川崎 浩二(長崎大学病院)
安藤 真紀(長崎大学病院)
宮川 江利(長崎市民病院)
浦山 晶子(長崎医療センター)

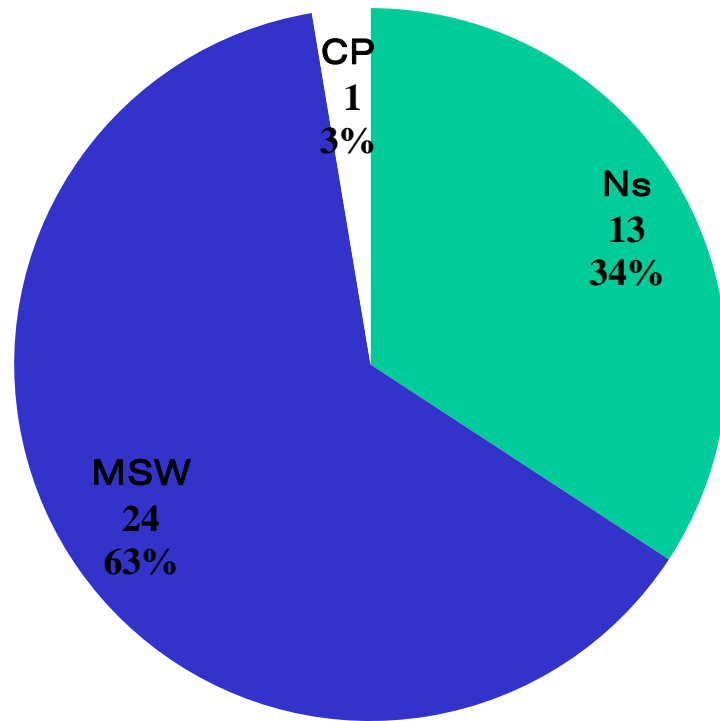


長崎県のがん拠点・推進病院

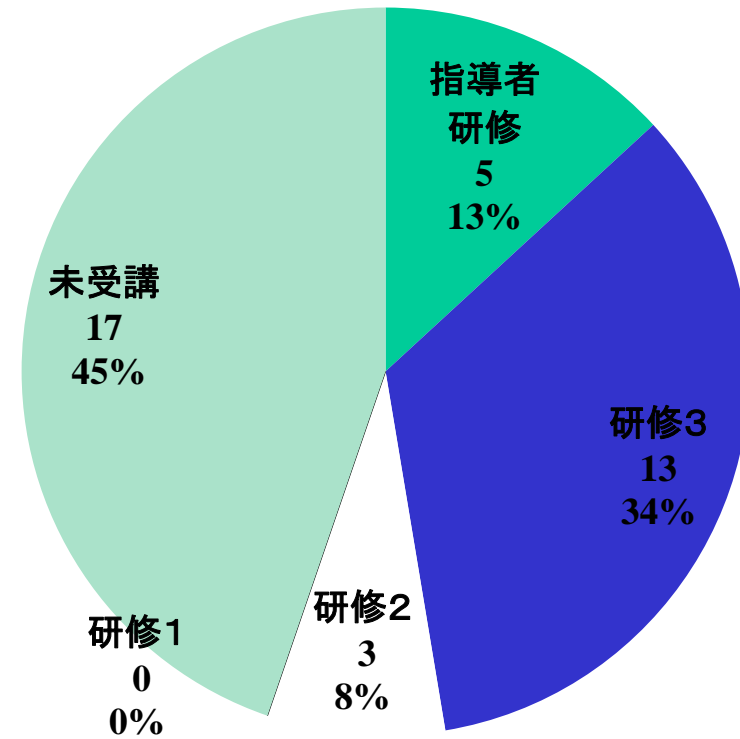


長崎県がん相談員の現状

長崎県がん相談員 38名(2014/1現在)



職種別



研修受講状況



長崎県がん診療連携協議会



長崎県がん診療連携協議会

県医師会
県歯科医師会
県薬剤師会
県看護協会
県保健福祉部

県拠点病院
長崎大学病院

(事務局)
がん診療センター

地域拠点病院
県指定推進病院

幹事会

がん登録

化学療法

相談支援
診療連携

緩和ケア

研修・研究

放射線
治療

地域連携
パス

ワーキンググループ



長崎県がん診療連携協議会 実務者会議

開催：平成25年6月1日（土）13:30～15:20 於：長崎大学病院

※平成22年度より、年1回の開催。

県内のがん相談員が参加。今年度 23名の参加あり。

1. 相談支援実績報告（各病院より課題提出）

→相談件数のカウントやがんサロンの課題等について検討。

2. 報告事項

- ・沖縄県がんサポートハンドブック紹介→長崎県版作成を！
- ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会
情報提供・相談支援部会（H25.5.31）
- ・九州・沖縄ブロック地域相談支援フォーラム（H24.12.1）

3. 今年度の長崎県がん相談員研修会計画（年2回開催）



長崎県がん診療連携協議会 実務者会議



研修計画・実施



| | |
|------|---|
| 実施主体 | 長崎県がん診療連携協議会 相談支援WG |
| 協力者 | 長崎県医療政策課 |
| 研修計画 | 相談支援WG長 指導者研修修了者(3名⇒今年度より5名) |
| 研修対象 | 拠点病院(6施設) および県指定推進病院(2施設) がん相談員 38名 |



がん相談員の学習ニーズや学習課題

がんサロンの運営

参加者が少なく、企画・広報に問題を感じている。

相談員のスキル

相談員が比較的若く、経験も浅い。

がん情報の集め方

医学的知識・社会資源に関する知識、地域医療の治療・療養情報 など。

相談支援センターの広報



平成24年度 がん相談員研修会



| 日時 | 内容 | 場所 | 参加者 |
|--------------------------|---|--------|-----|
| 11月17日(土) 13:00-16:00 | ○街中サロン「がんサロンちっこ」 2周年の経験 峰 孝志 先生(久留米大学病院准教授) ○長崎市立図書館と長崎市内拠点 病院とのコラボ企画報告 大隈 輝美 係長(長崎県医療政策課) ○グループワーク | 長崎大学病院 | 22名 |
| 2月16日(土) 10:00-15:30 | ○がん相談支援のプロセスの理解と その応用 高山 智子 先生(国立がん研究センター) ○グループワーク | 長崎大学病院 | 17名 |





平成25年度 がん相談員研修会



| 日時 | 内容 | 場所 | 参加者 |
|--------------------------|--|---------------|-----|
| 12月14日(土) 13:00-16:00 | <p>○研修会参加報告(就労支援) 指導者フォローアップ研修 「働くことを支えるために」 青木 美帆 MSW(長崎大学病院)</p> <p>がん・バツテン・元気隊 NPO法人ハッピーマンマ主催、九州がんセンター共催 「がん患者と相談者のための就労セミナー」 空閑 郁子Ns(佐世保市立総合病院) 安藤 真紀MSW(長崎大学病院)</p> <p>○グループワーク</p> | 佐世保市立 総合病院 | 14名 |
| 3月8日(土) (準備予定) | <p>○がんサロンとピアサポート(講義) ○グループワークorロールプレイ</p> | 長崎医療 センター | |



研修会参加後の反応

◇アンケート結果より

学びたいテーマについて

- ・就労支援
- ・社労士や労基署等の役割

進行について

余裕を持った時間配分を。

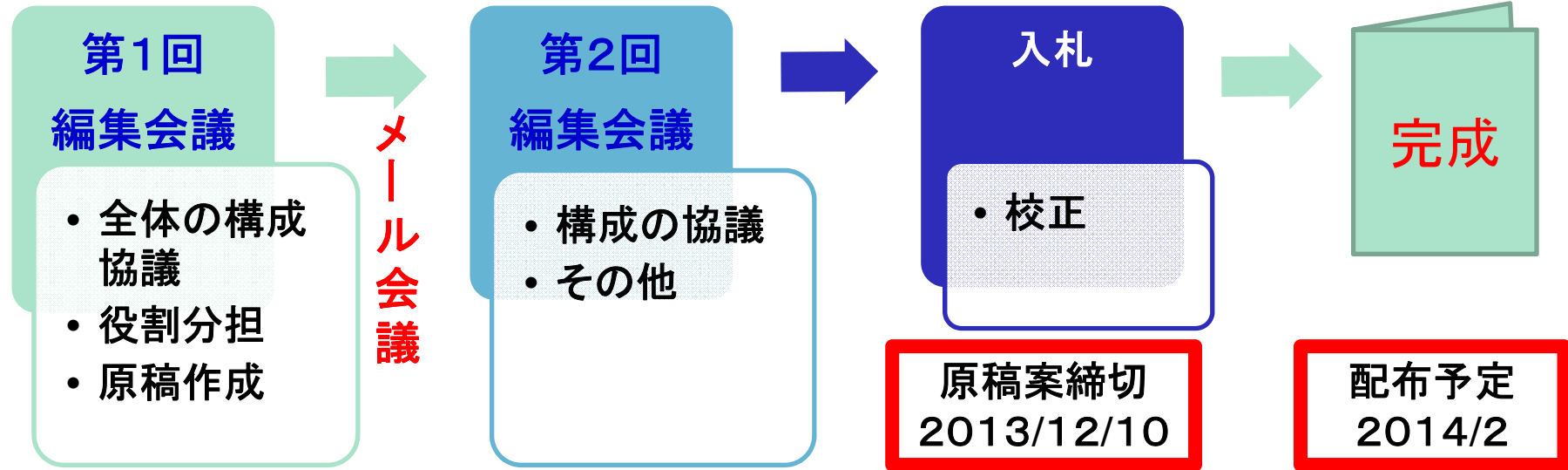
**※ほとんどの参加者が
継続学習を希望！！**



今年度第1回相談支援WG研修会
IN佐世保市立総合病院



長崎県がんサポートハンドブック作成



The diagram shows the structure of the handbook:

- 病気や治療、療養情報** (Disease, treatment, and care information)
- お金のこと** (Money matters)
- ハンドブックの構成** (Handbook structure)
- 県内の医療体制** (Medical system in the prefecture)
- 問合せ先・コラム** (Contact information and columns)

Reference image: **おきなわがんサポートハンドブック** (Okinawa Cancer Support Handbook) with the text **参考にしました!** (Referenced!).

今後の課題



研修会を継続していくことが重要。

そのためには・・・。

財源の確保

→相談支援WG研修会開催費用の予算化

相談員のモチベーション・動機づけ

研修担当者の業務負担

→「研修会開催マニュアル」の作成

研修会開催場所の検討

→南北に長い長崎県。開催場所の選択は重要！





ご清聴ありがとうございました。

